

第60回支部定期大会を開催

空ポストがもたらす国民の安全・安心を守る

東海

No.3152

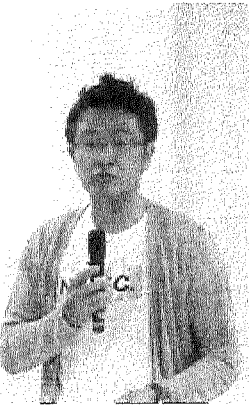
17. 9. 1

国土交通労働組合
東海建設支部
教育宣伝部

県協・分会大会
早期の開催を!

八月二十六日、第二合同庁舎で東海建設支部第六〇回定期大会を開催しました。
大会では、空ポストによる業務執行への弊害や、再任用職員の業務内容・フルタイム任用の実現、電子決済での職場の問題、組織拡大・強化について、職場からの率直な意見が出されました。
また、来賓の静岡生公連の高橋事務局長からは「国交省の仕事は重要で、信頼もしている」と激励されました。

【三重分会：山下代議員】



三重では、空ポストが出張所で二、事務所で七、計九にも上る。空ポストの業務を再任用者が併任で対応していたが、再任用者が退職してしまい、結局業務執行に影響が出ている。
今後、空ポストがどのようになるのか？当局の姿勢をおしえて欲しい。

【浜松分会：鈴木代議員】
磐田出張所は出張所長が

一人で業務を進めているが、予算も多くついており、遅くまで業務執行に追われている、長時間労働を強いられている状況だ。



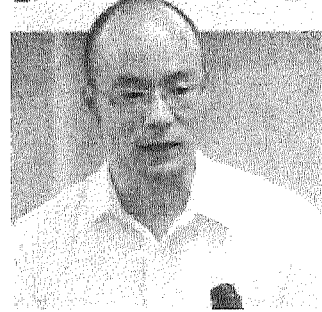
【執行部】

空ポストについては、問題点を当局に指摘しているが、前局長が空ポストの解消について、シミュレーションすると回答していたが、当局は「不確定要素が

国交労組東海建設支部役員名簿

役職	氏名	出身分会	
執行委員長	深見 勝治	岐阜分会	
執行副委員長	橋本 波雄	名国分会	
	辻 重美	三重分会	
	安藤 浩照	岐阜分会	
	西 誉夫	名四分会	
	山田 光希	岐阜国分会	
書記長	炭竈 康志	豊橋分会	
書記次長	坂井 文也	本局分会	
執行委員	柏井 光彦	名国分会	
	刈田 晃	高山分会	
	山下 仁司	桑名分会	
	田中 良治	天竜上分会	
	佐々木 智史	本局分会	
	家田 竜弥	多治見分会	
	森 浩久	岐阜国分会	
	節田 真理子	岐阜国分会	
	会計監査	堀川 勝利	本局分会
		中森 裕也	庄内川分会

第60回定



いかと危惧している。将来的な展望について、当局を追及していきたい。

【豊橋分会：後藤代議員】

△は、組織的な業務執行体制を勘案するように当局に指摘してもらいたい。

【三重分会：山下代議員】

△は全員（出張所等）が取れ

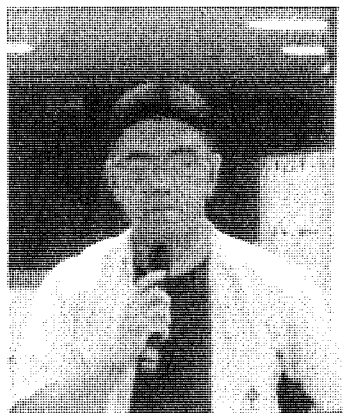
る制度となっていない。組織的な執行体制となっており、少人数職場では、誰かがフレックスを利用すると業務が滞る。育児や介護で必要な職員は、短時間勤務を基本に現在の休暇制度の拡充で対応するべき。

※ 他の分会からも、フレックスタイムやゆう活の活用方法について、職場での業務執行に影響が出ている



電子政府だけでは、業務改善にならない

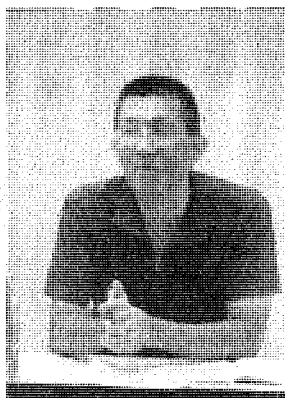
【三重分会：川上代議員】
 電子政府を掲げる政府方針の下、職場では、電子決裁が導入されていますが、職場での実態では、「個別決裁では、上司まで決裁が回ったことを確認してから、紙ベースで説明にいかないと、押印されない」、「結局、上司が押印しないので、個別に決裁に回っており、少しも業務改善とはなっていない」などの意見が出される一方、「時間短縮で効果的」との意見もあり、一長一短がある模様です。支部として、職場実態を把握した上で、問題点を当局に指摘すると回答しました。



再任用者で、週休日や賃金に不満があり辞めてしまった。他の再任用者の業務配置にも不満がある。

【浜松分会：鈴木代議員】
 再任用職員で出張所が勤務地となると、年度途中に退職されると、業務執行が滞るとこととなる。

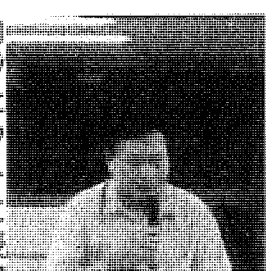
【執行部】
 再任用者の業務配置は、三日勤務、四日勤務で超過勤務をせざるにこなせる業務となっており、職場にも、本人にも負担となつていく。必要な業務を執行できる体制とするためにも、フルタイムでの任用を求めた。今年には全国の三地整でフルタイムが認められたが、中部は一人のみで、職場の要求に依っていない。定員・定数を使うことになるとポスト配置でも課題があり、限定的な対応に留まっている。すでに、来年度の募集要項が明らかになっているので、再任用希望者の要求組織しながら、当局に希望者全員のフルタイム勤務を求めていきたい。



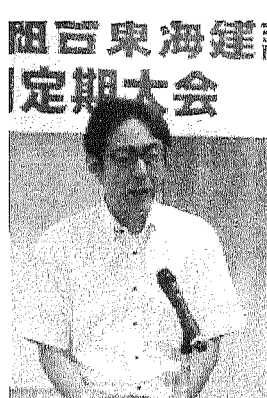
【高橋議長】
 岐阜県協の生公連署名は、高山や岐阜国など目標を超過達成している。建設

業協会からの協力の結果だが、毎年継続的に取り組む中で、お互いの信頼関係も築け、確実に署名集約ができていく。

建設業に入職する若手技術者が不足しているという大変苦勞されているようだ。業界の体質がどのように改善できるか、お互いの立場で話しをするのも大切だと思う。

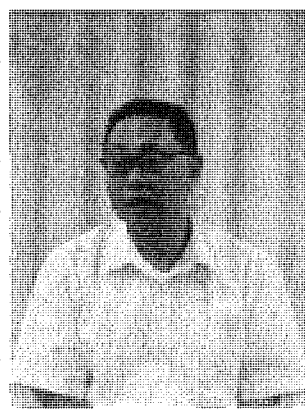


【設楽分会：小松代議員】
 生公連署名の要求項目で、大規模プロジェクトと表現されると、ダム事務所では自分たちの仕事を批判されているようで署名がとりにくい。改善を。



【本部：依田書記次長】
 審議未了で採択されなかったが、紹介議員は確実に増えており、この間の取り組みの成果と考えている。大規模プロジェクトは、「無駄な公共事

業」と読み替えて欲しい。



【静岡生公連：高橋書記長】
 静岡生公連では、国交労組、ユニオン、建交労で建設業協会に署名の要請に赴いている。国交省の労働組合と紹介すると話を聞いてもらえる。署名の内容では、大規模プロジェクトでない、ダンブが動く仕事とされない、組合員から質問されると、無駄な公共事業、と説明し理解を得ている。生公連署名は、公契約の突破口ともなるし、議員は国交省職員と紹介するときと対応してもらえ。

【浜松分会：鈴木代議員】
 昔は、組織的に厳しい時代もあったが、倫理観もって仕事を進める中で、組合員も職場での信頼を得ることができ、組合員を増やしてきた。現在は、人間関係が希薄となり、業務多忙の中、パワハラが横行し、命を落とす職員もあった。現役世代をフォローしながら、運動を進めていくことが重要ではないか。